

安全



安心

# JAL不当解雇撤回ニュース

No314号 2012.09.06  
発行: JAL 解雇撤回国民共闘事務局  
連絡先: 航空労組連絡会事務局  
〒144-0043 大田区羽田 5-11-4  
フェニックスビル内  
TEL: 03-3742-3251 FAX: 03-5737-7819  
<http://www.jalkaikotekkai.com>

## ANA 客室乗務員の正社員採用へ 雇用と空の安全に大きな前進!

全日本空輸 (ANA) は 2013 年 8 月 19 日、「14 年度入社以降の客室乗務員の採用形態を契約社員から正社員に切り替える」と発表しました。最初から正社員として採用することで、品質向上のため優秀な人材を確保し、客室乗務員の保安要員としての意識をより高めるためとしています。

### 契約制客室乗務員導入の経緯

1994 年に日本航空で、1995 年に全日空でコスト削減を目的に、それまでの正社員採用から契約制客室乗務員の採用に切り替えられました。

当初は 3 年での雇止めでしたが、JAL 客乗組合や JAS 労組の客室乗務員が中心となって、国民的大運動を展開する中、3 年後に正社員になる道が開かれました。



以降、日本のすべての客室乗務員はすべて契約制での採用となっています。また格安航空会社では、1 年契約 3 年で雇止めとなっています。

### ANA の正社員採用切り替えは、航空労働者の闘いの成果

今回の ANA の正社員採用への切り替えは、雇用と安全に関する重要な制度変更です。

これは、客室乗務員を中心として航空労働者が、「不安定な雇用では、モチベーションの低下を招とともに、契約制の身分から安全について意見を言いにくくなる。」また、「労働条件の違う乗務員が一緒に働くことで、チームワークが阻害される。」として、長年改善を求めて闘ってきた成果であり、空の安全に向けての大きな一歩となります。

CCU :  
現 JAL キャビンクルーユニオン



**JAL の客室乗務員  
も喜んでいきます**



契約の 3 年間は、ひたすら「忍」の一字です。何も言えません。自分が不安定だからです。JAL も皆が正社員になり、明るい職場で働きたいです。

## 新聞にも読者の声が掲載されました

### 全日空の採用 正社員化は英断

全日空が、来年度以降入社  
の客室乗務員を当初から  
正社員として採用するとい  
う。より優秀な人材を安定  
的に確保したいということ  
のようだが、雇用形態が非  
正規重視に偏りすぎている  
ことが問題とされる中、企  
業として先を見据えた英断  
と言っているだろう。

正社員を多く抱えれば短  
期的には人件費もかさみ、  
経営を圧迫するかもしれない。  
しかし、正社員となる  
ことで、仕事への意欲や情  
熱が格段に向上するだろ  
う。何よりも航空保安委員  
としての責任感も増すに違  
いない。

これが同業他社にまず広  
がり、続いて他の業界にも  
波及すれば、わが国の経済  
も元気を取り戻すかも知れ  
ない。目先の利益を優先す  
るあまりに、人件費を単な  
るコストとしかみてこなか  
った経営者の意識改革も促  
すことになる。雇用が安  
定した社会になれば、おの  
ずと安心して消費するの  
で、景気回復にも資するの  
ではないだろうか。

2013年8月29日 朝日新聞

### JAL の契約制客室乗務員の雇止めを撤回せよ！

JAL では、2010年4月に契約制客室乗務員の雇止めが行われ、現在最高裁で争われています。上司のパワハラによる不当な雇止めです。

契約制でなければ起こらなかった雇止め事件です。JAL も早急に正社員採用に切り替え、雇止め裁判についても一刻も早く自主解決し、職場に戻すべきです。

### 正社員採用とともに、正社員の過酷な勤務も改善すべき

日本のすべての航空会社において、正社員採用への転換を求めます。一方、安全を阻害する客室乗務員の過酷な勤務実態（休憩なしの14時間勤務・0泊3日のパターン等）を一日も早く改善すべきと考えます。

また、正社員採用との引き換えに、更なる労働条件の改悪が行われないよう、注視していく必要があります。



### JAL は全員正社員化とともに84名の解雇問題も早期解決を



今回の全日空の正社員採用への切り替えは、客室乗務員は、不安定な雇用では安全は守れず、経験が何より大事であることを物語っています。

解雇された84名をすぐに職場に戻すことが、JALの安全と信頼に繋がるのではないのでしょうか。